

よくある質問と回答(FAQ)

このドキュメントは、Autodesk 360 クラウド コンピューティング プラットフォームや、クラウドのセキュリティ、クラウド ユニット、ドキュメント ストレージなどの重要なトピックに関するよくある質問への回答を提供するものです。

Autodesk 360 全般

Autodesk 360 とは？

Autodesk 360 は、設計、視覚化、シミュレーションや、他のユーザとの作業の共有のあり方を劇的に向上する、幅広い機能、クラウド サービス、製品を提供するクラウド コンピューティング プラットフォームです。

「Autodesk Cloud」が Autodesk 360 という名称になったのはなぜですか？

オートデスクが昨秋「Autodesk Cloud」を発表した際、その名前は当時オートデスクが市場に投入していた一連のクラウド サービスを総称したものにすぎませんでした。オートデスクのビジネス戦略が進化するにつれ、こうしたクラウド機能をどのように呼び、どのように構築していくかについても考えが進歩しました。

オートデスクのビジョンは、お客様の拡大するニーズに合わせて拡張可能なクラウドによって、単一のテクノロジー インフラストラクチャや一貫したユーザ エクスペリエンスを提供することです。Autodesk 360 は、この新しいクラウド コンピューティング プラットフォームの「ブランド」です。

Autodesk 360 は有償ですか？

どなたでも Autodesk 360 プラットフォームを介して無償で使用できる基本サービスと、特定のオートデスク製品のSubscription(サブスクリプション)契約を通じて使用できるサービスがあります。

無償で使用できる基本サービスは以下のとおりです。

- 1 アカウントにつき 3GB のドキュメント ストレージ
- Autodesk 360 内でのコラボレーション ワークスペース
- ファイルを閲覧、編集、および他のユーザと共有する機能
- 以下を含む無償のモバイル アプリケーション:
 - Autodesk Design Review
 - AutoCAD WS
 - Autodesk ForceEffect
 - Autodesk ForceEffect Motion

以下のサービスは、お客様が特定のオートデスク製品のSubscriptionをご購入の場合にそのサービスの一環として利用できる、Autodesk 360 のサービスです。

- 1 アカウントにつきクラウド ストレージを 3GB から 25GB に増加
- Autodesk 360 クラウド サービスへのアクセス(所有する製品によって使用可能サービスが異なります。)
- Autodesk 360 Rendering
- Autodesk 360 Optimization for Inventor
- Autodesk 360 Energy Analysis for Revit
- Autodesk 360 Structural Analysis for Revit
- Autodesk Green Building Studio

Autodesk 360 クラウド サービスで使用できるクラウド ユニット(CU)

- 1 シートにつき 100 CU – スタンドアロン製品または Suite 製品 Standard エディション
- 1 シートにつき 250 CU – Suite 製品 Premium エディション
- 1 シートにつき 500 CU – Suite 製品 Ultimate エディション

Autodesk Subscription を購入しないと利用できないAutodesk 360 クラウド サービスはありますか？

はい、主なAutodesk 360 クラウド サービスは、オートデスクのコマーシャル単体製品またはスイート製品 (AutoCAD® LT は除く)のSubscriptionをご契約のお客様に対して提供しております。これらのサービスと互換性のある製品のリストは、www.autodesk.co.jp/subscription を参照してください。なお、現在 Autodesk 360 Rendering のみ、Subscription契約の無いお客様向けの無償体験版を提供しています。

クラウド ユニット & ストレージ

クラウド ユニットとは？

クラウド ユニットとは、Autodesk 360 クラウド コンピューティング プラットフォームで大量の演算処理を必要とするタスクを実行する場合に所有してはならないクラウド容量を値で表すための単位です。たとえば、Autodesk 360 Rendering クラウド サービスを使用してファイルをレンダリングするには、5 クラウド ユニットが必要となります。5 クラウド ユニットさえあれば、デスクトップでは処理に何時間もかかっていたフォトリアルなイメージを、ほんの数分で作成できます。クラウド ユニートを必要とする Autodesk 360 クラウド サービスには、このほかに Autodesk 360 Optimization for Inventor や Autodesk 360 Structural Analysis for Revit があります。

Autodesk 360 クラウド サービスで使用されるクラウド ユニットはいくつですか？

クラウド ユニットはオートデスク特有の単位で、オートデスクのクラウド コンピューティング プラットフォームである Autodesk 360 において大量の演算処理を必要とするタスクを実行する場合に使用されます。現時点で、ジョブの実行にクラウド ユニートを必要とする Autodesk 360 クラウド サービスは以下の 3 つです。

- Autodesk 360 Rendering = レンダリング実行 1 回につき 5 CU
- Autodesk 360 Optimization for Inventor = シミュレーション実行 1 回につき 5 CU
- Autodesk 360 Structural Analysis for Revit = 解析実行 1 回につき 3 CU

クラウド ユニットは追加で購入できますか？クラウド ユニートを使い果たすとどうなるのですか？

現在、クラウド ユニートを追加購入するシステムはありません。このため、Subscription をご契約のお客様が、契約に付属するクラウド ユニートをすべて使用した場合、期間限定でこれらのサービスを追加費用なしで引き続き利用できるようになっています。

将来的には、追加のクラウド ユニートを購入できるようにする予定です。現時点では、お客様に通知のうえで、アカウントのクラウド ユニット数を Subscription 契約に定められた元の数にリセットするようになっています。また、クラウド ユニートの追加が必要な場合には、対処法の詳細をお知らせします。

1 アカウントにつき、どれくらいのストレージを利用できますか？

Autodesk 360 アカウントはどなたでも作成でき、作成するとすぐに 3GB のクラウド ストレージ容量が与えられます。単体製品や Suite 製品とその Subscription をご契約の場合、お客様の Autodesk 360 ストレージ容量は、1 アカウントにつき 25GB に増加されます。

ストレージ容量をまとめて結合できますか？

現時点では、Autodesk 360 クラウド ストレージの容量を結合することはできません。

アカウントのストレージ容量を追加することはできますか？

現時点では、Autodesk 360 アカウントにストレージを追加したり、追加ストレージを購入したりすることはできません。将来的には、この機能を提供する予定です。

ストレージ容量を使い切ってしまった場合はどうなりますか？

アカウントに割り当てられたクラウド ストレージをすべて使用した場合は、既存のファイルを削除して空き容量を増やさない限り、それ以上 Autodesk 360 にファイルを保存することはできません。

すべてのクラウド ユニートをまとめて再分配することができますか？

現時点では、クラウド ユニットをおまとめすることはできません。お持ちのクラウド ユニット数をまとめたのちに、グループ内のライセンスで分配するという運用方法が望まれていることは理解しています。これについては現在検討中です。

Subscription 契約に 5 つのライセンスが含まれている場合、この契約で何人のユーザがログイン アカウントを作成できますか？

Subscription をご利用のお客様は、Subscription の各シートに最大で 3 人のユーザを関連付けることができます。この例では、お客様は 5 個のライセンスをお持ちであるため、アカウントに関連付けることができる合計ユーザ数は 15 人となります。

Autodesk 360 セキュリティ

Autodesk 360 の使用やプロジェクトの保存の安全性は保たれていますか？

Autodesk 360 は、データセンターの運用に関する業界標準のベスト プラクティスに基づいて構築されています。

オートデスクの物理的な施設は望ましくない人物の侵入から保護されており、稼働状況は 1 日24時間、週7日間監視されています。また、冗長電源により、停電が発生しても設備の動作は継続されます。

データ損失を防ぐためにファイルはバックアップされます。さらに、データセンターが使用不能になった場合でも、お客様のデータは冗長構成のリモートシステムによって保護されます。

Autodesk 360 サーバとお客様の PC との間のトランザクションは暗号化して転送されます。

保存したファイルにアクセスするには、アカウント情報が必要です。また、ファイルを共有する相手ユーザはお客様自身でコントロールできます。

サービスを管理するオートデスク従業員は慎重に選考されるほか、定期的に監査することによって、必要なポリシーが遵守されていることを確認しています。

サーバ上のデータはどのように保護されるのですか？

Autodesk 360 データセンターは、オートデスクが定義した特定の要件を遵守します。オートデスクの要件は、クラウドサービスの業界標準とベスト プラクティスに加えて、オートデスク独自の厳格なポリシーと手法に従ったものです。データはバックアップされ、必要なときに利用できます。

ファイルはどこに保存されるのですか？

お客様のファイルは、米国にあるセキュアなデータセンターに保存されます。

ファイルはバックアップされるのですか？

お客様のファイルは、お客様が必要なときに使用できるよう、常にローカルおよびリモートでバックアップされます。

インターネットで転送中のデータはどのように保護するのですか？

Autodesk 360 サーバとお客様の PC との間のトランザクションは、銀行やオンライン ショップで使用されるものと同じ業界標準の暗号化テクノロジーを使用して暗号化されます。インターネット ブラウザのアドレスバーに「https://」と表示される場合、データはこの暗号化によって保護されています。

暗号化されていますか？暗号化されている場合、どのような種類の暗号化を利用していますか？

お客様のデータと認証情報の保護には、業界標準の暗号化テクノロジーを使用しています。

盗難や侵入からはどのようにデータを保護するのですか？

インターネットを介して転送中のデータと、データセンターの設備内に保存されているデータの両方を、脅威や侵入から保護しています。

具体的には、以下のとおりです。

オートデスクのホスティング施設は、すべて物理的にフェンスなどのペリメータ セキュリティで保護されています。施設へのアクセスは監視され、各出入口でコントロールされます。

施設内部はビデオで監視され、サーバールームへのアクセスは厳しく統制されています。

インターネット上で転送中のデータは、銀行やオンライン ショップで使用されるものと同じ業界標準の暗号化テクノロジーを使用して暗号化されるため、データや認証情報は保護されます。

ファイアウォールを使用しますか？

Autodesk 360 は最小で 2 層のファイアウォールを使用しています。1 つはデータセンター全体を望ましくない侵入から保護するものです。これとは別に、各サーバに対するアクセスをコントロールするものも使用しています。これらのファイアウォールには非常に厳密なアクセス制御リストが用意されています。

サーバを侵入からどのように保護しますか？

ペリメータの安全性確保、出入口の統制、施設内監視によって、施設とそこに収容されているサーバを物理的に保護しています。最小で 2 層のファイアウォールを使用して、インターネットへのサーバ接続を保護しています。

ファイルが壊れたり、ウイルスに感染したりする可能性はありますか？

残念ながら、完全なセキュリティと保護を保証できるサービスはありません。しかし Autodesk 360 は、ウイルスやその他の脅威に対し、ファイアウォール、ウイルス スキャナ、その他のソフトウェアを含む、企業やその他の主要なクラウド サービス プロバイダで使用されているのと同じ、業界標準のセキュリティ保護、手法、テクノロジーを提供しています。

データセンターの信頼性は？

Autodesk 360 データセンターは、オートデスクが定義した特定の要件を遵守します。オートデスクの要件は、クラウドサービスの業界標準とベストプラクティスに加えて、オートデスク独自の厳格なポリシーと手法に従ったものです。データバックアップと冗長性、さらに可用性に関連する広く使用されている手法によって Autodesk 360 とお客様のデータの可用性が維持されます。

データセンターが停止した場合はどうなりますか？

Autodesk 360 は可用性を高める手法に則り、冗長構成の設備とデータストレージを介して、継続的な可用性を提供し続けることができます。

万が一 1 つのデータセンターが使用不能になった場合でも、このデータセンターがオンラインに復旧するまでは、別のデータセンターがその役割を引き継ぎます。

Autodesk、AutoCAD、Green Building Studio、Inventor、Revit は、米国および/またはその他の国々における、Autodesk, Inc.、その子会社、関連会社の登録商標または商標です。その他のすべてのブランド名、製品名、または商標は、それぞれの所有者に帰属します。オートデスクは、通知を行うことなくいつでも該当製品およびサービスの提供、機能および価格を変更する権利を留保し、本書中の誤植または図表の誤りについて責任を負いません。

© 2012 Autodesk, Inc. All rights reserved.